

令和4年度 草津市地球温暖化対策実行計画（事務事業編） 達成状況

草津市の実行計画では、エネルギー起源のCO₂排出量について、平成25（2013）年度を基準とし、令和12（2030）年度に、50%以上削減することを目標としています。

令和4年度は基準年度と比較してCO₂排出量を29.7%削減することができました。

CO₂排出量のうち、最も大きな排出源となっているエネルギーの種類は電気と都市ガスであり、全体の92.67%を占めております。電気は、主に各施設の照明・空調等に使用されており、都市ガスは、主に庁内や小中学校、まちづくりセンター等で冷暖房の一部や給湯器、調理室で使用されています。

表 令和4年度 全体のCO₂排出量とエネルギー毎の内訳

エネルギーの種類		CO ₂ の排出量(kg-CO ₂)		増減率 (%)	寄与率 (%)	
		R4	R3			
エネルギー起源CO ₂		10,331,584	13,311,221	▲ 22.4%	100.0%	
施設	電気	7,352,434	10,452,648	▲ 29.7%	71.15%	
	都市ガス	2,223,339	2,211,672	0.5%	21.52%	
	LPガス	229,979	120,400	91.0%	2.23%	
	灯油	375,828	370,962	1.3%	3.64%	
	軽油・BDF	16,153	18,906	▲ 14.6%	0.16%	
	ガソリン	9,266	8,830	4.9%	0.09%	
	重油	12,715	21,583	▲ 41.1%	0.12%	
	公用車	電気	1,926	1,920	0.4%	0.02%
		都市ガス	0	0	0.0%	0.00%
		軽油・BDF	7,729	4,932	56.7%	0.07%
ガソリン		102,216	99,368	2.9%	0.99%	

<主な減少要因について>

- ・これまでCO₂排出量の算出に用いていた電気の排出係数の値がこれまで使用していた値よりも低い値となったため減少しました。

<主な増加要因について>

- ・新型コロナウイルス予防策が緩和され始め、各課の活動が新型コロナウイルス蔓延前に戻りつつあったため一部CO₂排出量が増加しました。

<令和12年度（基準年度）までのCO₂排出量推計のグラフ>

